

みな
レポ

花言葉は「返礼」



9月29日(金)、天皇陛下からご下賜金による記念植樹を役場1階マチドマテラスで行いました。

この記念植樹を企画したのは、東北・北海道地区緑化推進協議会。震災後天皇皇后両陛下が本町を慰問されたことや地元産材を多く使用した役場新庁舎の完成を記念し、今回の植樹が企画されました。

植えたのは高さ3.5メートルのハナミズキで、「返礼」の花言葉があります。震災後、慰問していただいた両陛下や、たくさんのご支援をいただいた世界中の皆さんに感謝の思いを込めてこの樹種に決定しました。

役場にお越しの際は、ぜひ、ハナミズキをご覧ください。

郷土料理、郷土芸能を満喫

10月15日(日)、ひころの里秋まつりが開催されました。

グリーウェーブ入谷構想促進委員会の主催で毎年開催される本イベントには、地元食材をふんだんに使った郷土料理や新鮮野菜・果物が出品されたほか、豚汁やつきたて餅のふるまいが行われることもあって、町内外から多くの人が足を運んでいました。

また、ステージでは、入谷小学校児童による入谷打囃子の披露や、南三陸大正琴の会の優雅な演奏があり、会場は大いに盛り上がりました。

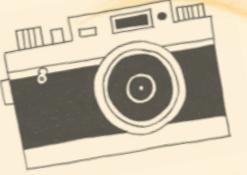


音楽イベント楽しむ

10月15日(日)、旧志津川仮設魚市場で「UTAKKO BURUME 2017」が行われました。

このイベントは、南三陸音楽フェスティバル実行委員会主催で行われたもので、当日は実行委員のほかに、町内外からのボランティアが集まり開催されました。

沖縄の4人組バンド「かりゆし58」をはじめ、著名アーティストによるスペシャルステージが行われたほか、歌津中・志津川高校吹奏楽部による合同演奏や南三陸ダンススクールなど、地元団体によるステージ披露も行われました。そのほかにも、町の旬の味覚が並んだ屋台や動物との触れ合いコーナーなどが設けられ、来場者は心地よい音楽と町の魅力が詰まった音楽フェスを楽しみました。



ホテル観洋の取り組みに栄冠



9月21日(木)、第3回ジャパン・ツーリズム・アワードにおいて、南三陸ホテル観洋の『震災を風化させないための語り部バス』による地域交流活性化の取り組みが見事、最高賞の大賞を受賞しました。同アワードは、観光立国の実現を目指す取り組みを国内外に周知・啓発することを目的に実施しており、今年度は持続的な観光への取り組みをテーマに募集が行われ、国内外から239件の応募がありました。ホテル観洋は、震災直後から宿泊施設を被災者に提供するなど、地域に寄り添い復興への道を開き、同時に『語り部バス』を催行して震災体験を宿泊客に伝えることで防災意識の向上を図ってきました、こうした震災を風化させないためのたゆまぬ取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございました。

百寿のお祝い 千葉あきさん（歌大磯）

10月16日(月)、百寿を迎えた千葉あきさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

あきさんは、9人きょうだいの末っ子で、子ども7人、孫・ひ孫35人の子宝に恵まれました。人生2度の大病にかかったにもかかわらず、これまで行ってきた農作業のおかげで元気いっぱいのご様子でした。

長寿の秘訣を聞くと「常に神経を使い、手足を動かすこと」だそうで、編み物をしたり、国会を見たり、日記や相撲の番付表を紙に書いたりされています。また、食べ物は何でも食べますが、特に魚が好物で、お酒も飲むそうです。

いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

